

スマートフォン利用者の動向調査(1)

## スマートフォン所有者のパソコン併用率は7割以上、携帯は2割弱

ここ数年で確実に利用者を増やしているスマートフォン端末。普及が急速に進んでいる昨今、スマートフォンを取り巻く環境も刻々と変化しています。このような状況において、スマートフォン所有者の利用動向を知っておくことはビジネスの展開においてとても大切です。

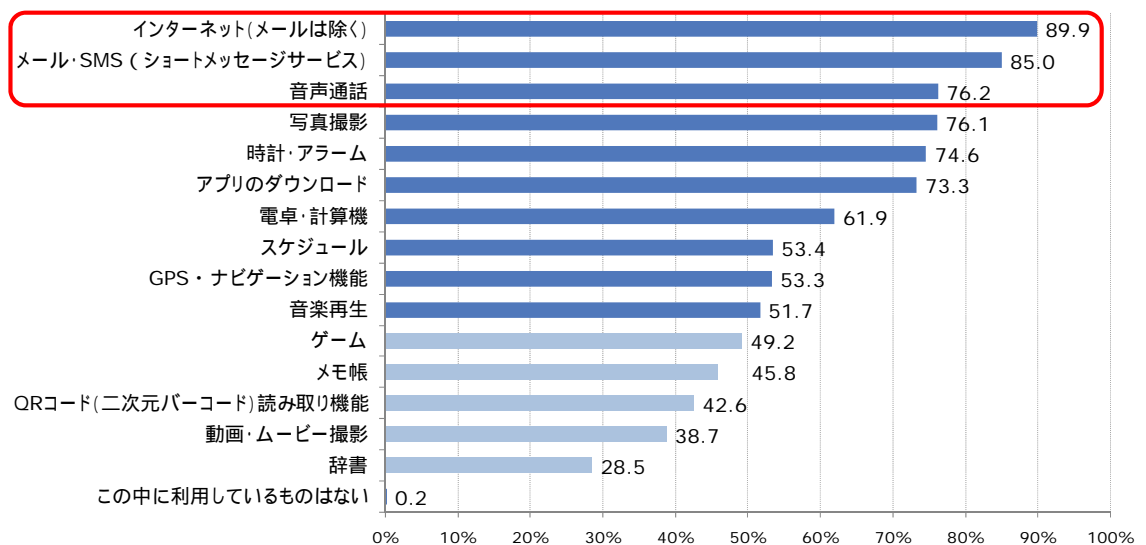
本稿では、全国の12歳以上の男女10,109人(小学生を除く)のスマートフォン所有者を対象に実施した調査の結果を基に、その利用に関する実態について探っていきます。

### 1. スマートフォンでよく使うのは「インターネット」「メール」「音声通話」

まず、スマートフォン所有者がよく利用している機能やサービスについて見ると、最も利用されている機能は「インターネット」の89.9%で、「メール・SMS」の85.0%、「音声通話」の76.2%がこれに続きました。スマートフォンにおいて最も活用されているのは「インターネット」であることは注目すべき特徴といえます(図1)。

図1 スマートフォンでよく利用している機能・サービス(複数回答、n=10,109)

個人で所有している端末のみについて回答

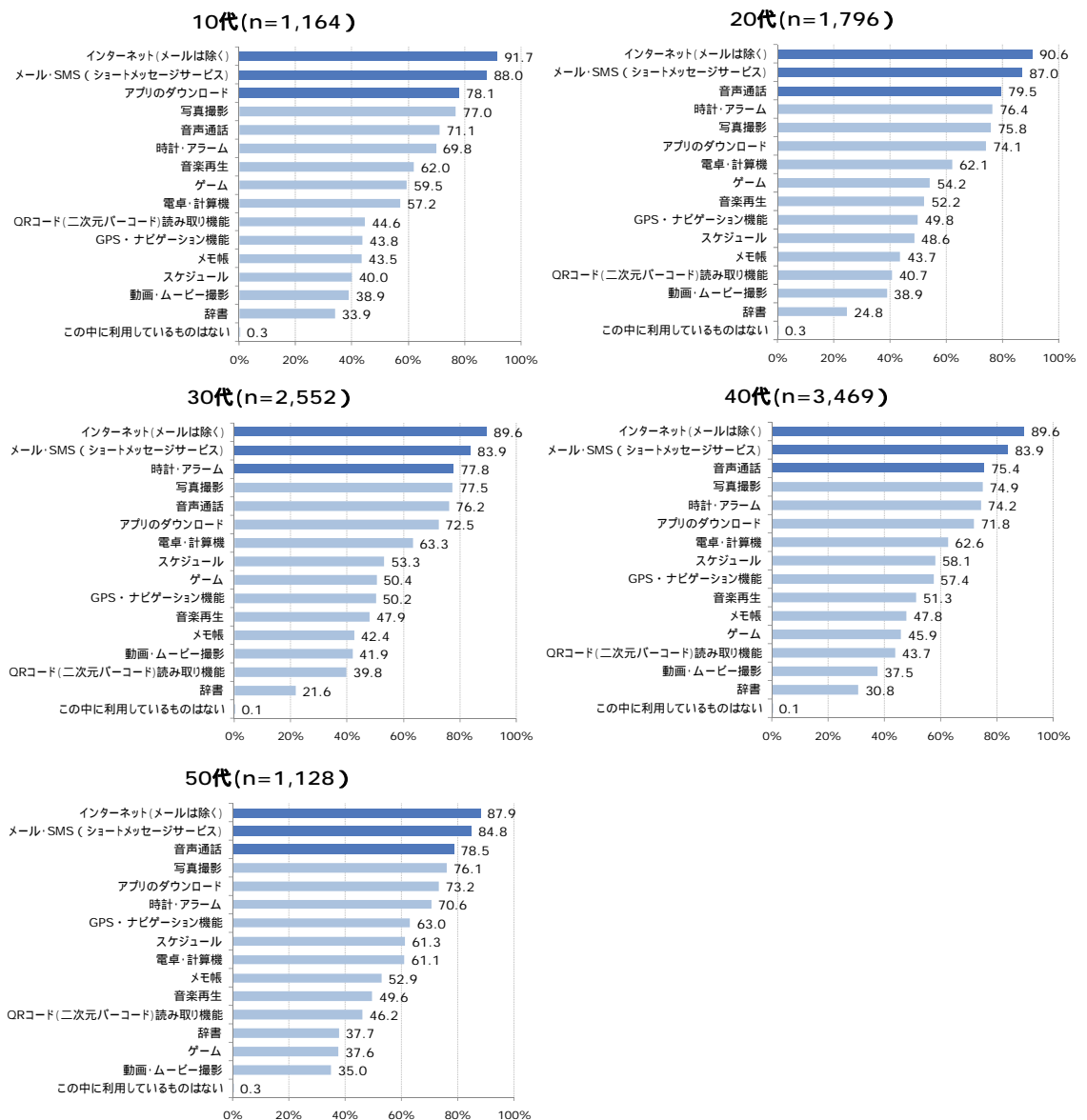


続いて、利用している機能を年代別で見ると、すべての年代において、利用目的のトップ2が「インターネット」と「メール・SMS」となっています。3番目に多い利用目的に関しては、10代は「アプリのダウンロード」、20代・40代・50代は「音声通話」、30代は「時計・アラーム」となっており、年代別に若干の違いが見られました(図2)。



図2 年代別：スマートフォンでよく利用している機能・サービス（複数回答）

個人で所有している端末のみについて回答

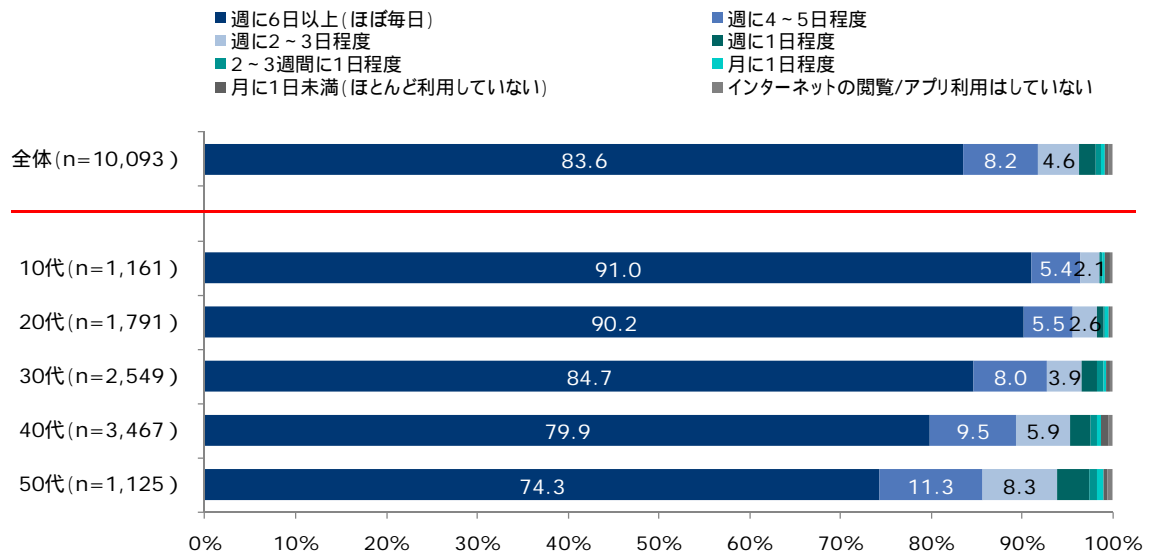


## 2. スマートフォンでのインターネット検索、「ほぼ毎日」が6割以上

次にスマートフォン所有者のインターネット利用頻度について見ていきましょう。インターネットの閲覧やアプリを利用する頻度については、8割以上の人「週に6日以上(ほぼ毎日)」と回答していました。これを年代別にみると、年齢が若いほど「週に6日以上」の割合が高くなっています。スマートフォン所有者のすべての年代で7割以上の人「週に6日以上」インターネットの閲覧やアプリを利用していることから、これらが日常的な行為であることが分かります(図3)。

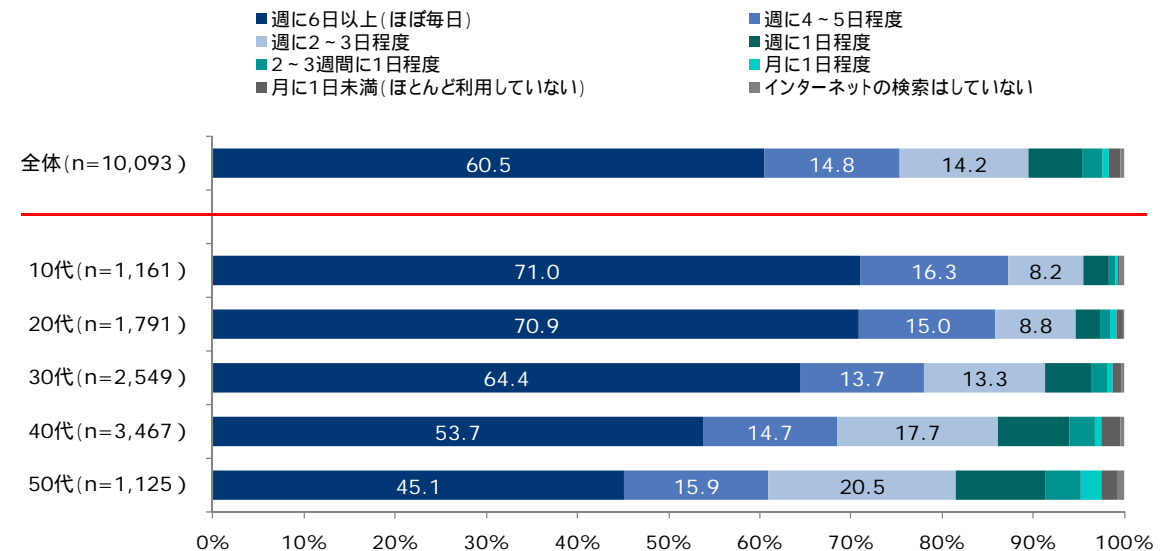


図3 スマートフォンでのインターネットの閲覧・アプリの利用頻度（単一回答）  
個人で所有している端末のみについて回答  
インターネットの閲覧やアプリの利用にオンラインショッピングは含まない



また、スマートフォンでのインターネット検索頻度について尋ねたところ、6割以上の方が「週に6日以上」と答えました。これを年代別で見ると、前述のインターネットの閲覧やアプリの利用と同様に年齢が若くなるほど「週に6日以上」の割合は高くなっていることがわかります(図4)。

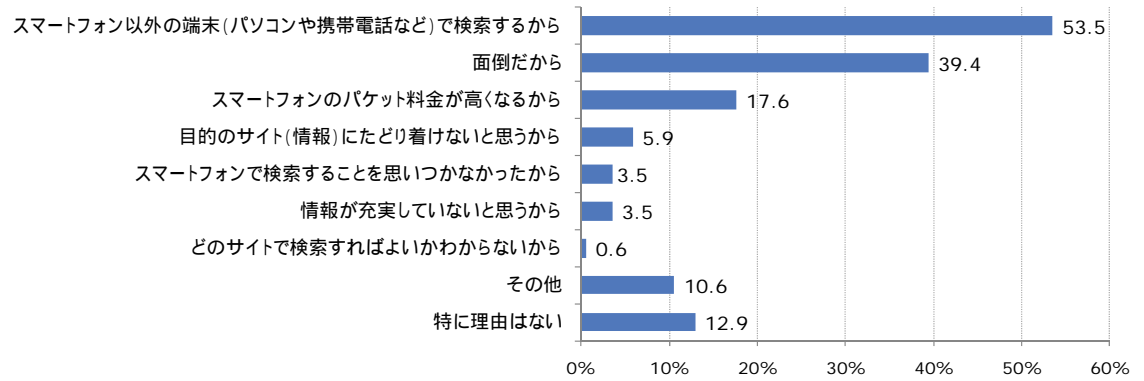
図4 スマートフォンでのインターネットの検索頻度（単一回答）  
個人で所有している端末のみについて回答  
インターネットの閲覧やアプリの利用にオンラインショッピングは含まない





一方で、スマートフォンを使ってインターネット検索を「月に1日未満(ほとんどしない)」「検索したことがない」と回答した人にその理由を尋ねたところ、「スマートフォン以外の端末で検索するから」と回答した人が半数以上で最も多い回答となりました(図5)。

図5 スマートフォンでインターネット検索をしない理由(複数回答、n=170)

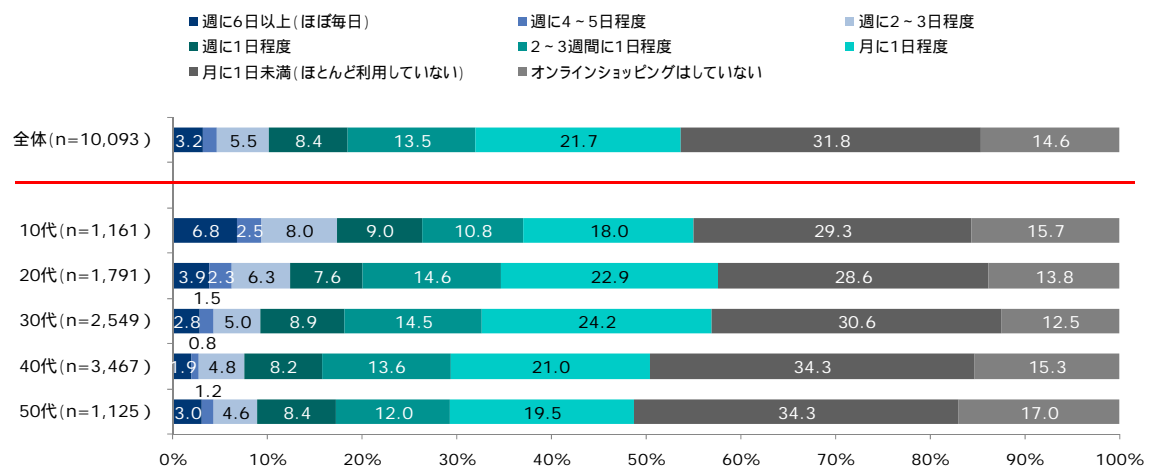


ここで、スマートフォンでの「オンラインショッピング」の利用頻度についても見てきましょう。スマートフォンで「オンラインショッピング」を行う人の頻度として最も高い割合は「月に1日未満」の31.8%で、次に「月に1日程度」の21.7%が続いていました。ちなみに「オンラインショッピングはしていない」と回答した人は14.6%でした。

年代別にみた際に、「週に6日以上」オンラインショッピングしていると回答した10代が6.8%存在している事実は、着目すべき点といえるでしょう(図6)。

図6 スマートフォンでのオンラインショッピング(アプリ購入も含む)利用頻度(単一回答)

個人で所有している端末のみについて回答  
インターネットの閲覧やアプリの利用にオンラインショッピングは含まない



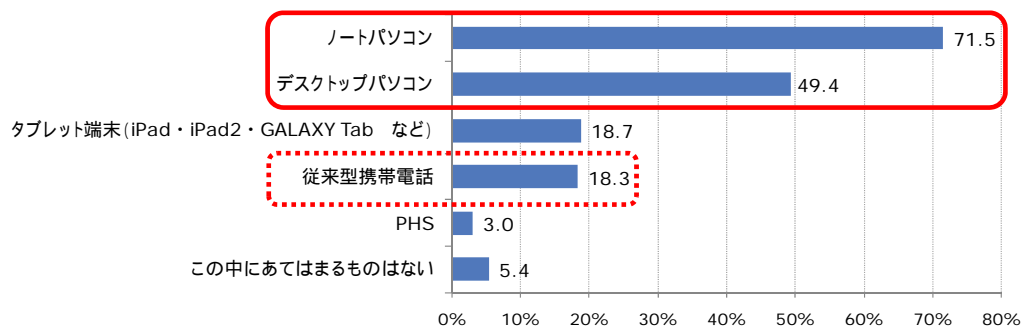
## 3. スマートフォン以外のデバイスの所有率は？

この章からは、スマートフォン所有者が他にどのような端末を所持し、どう利用しているかについて紹介していきます。

スマートフォン以外に所有している端末については、70%以上の人々が「ノートパソコン」を挙げています。次に回答割合が高かったのが「デスクトップパソコン」であることから、スマートフォン所有者がパソコンを所有している率は高いといえます。一方で、スマートフォンを持ちながら従来型携帯電話も持っている人は2割弱と、パソコン所有率に遠く及びませんでした(図7)。

図7 スマートフォン以外に所有している端末(デバイス)(複数回答、n=10,109)

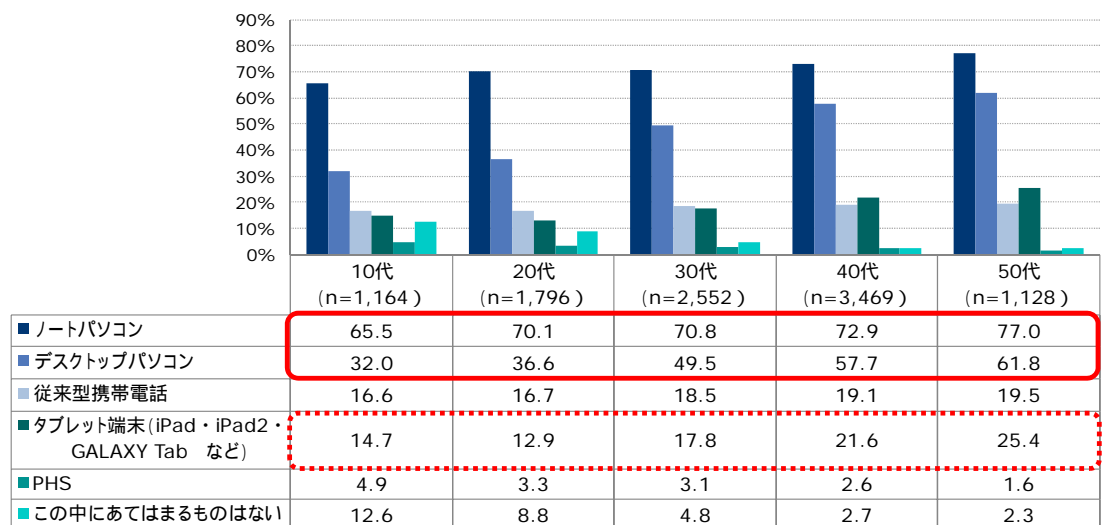
個人で所有している端末のみについて回答



スマートフォン以外の端末の所有率についても年代別で見たところ、どの年代においてもトップ2は変わらず「ノートパソコン」と「デスクトップパソコン」でしたが、「タブレット端末」については40、50代の所有率が他の年代と比べて若干高い傾向が見られました(図8)。

図8 年代別：スマートフォン以外に所有している端末(デバイス)(複数回答)

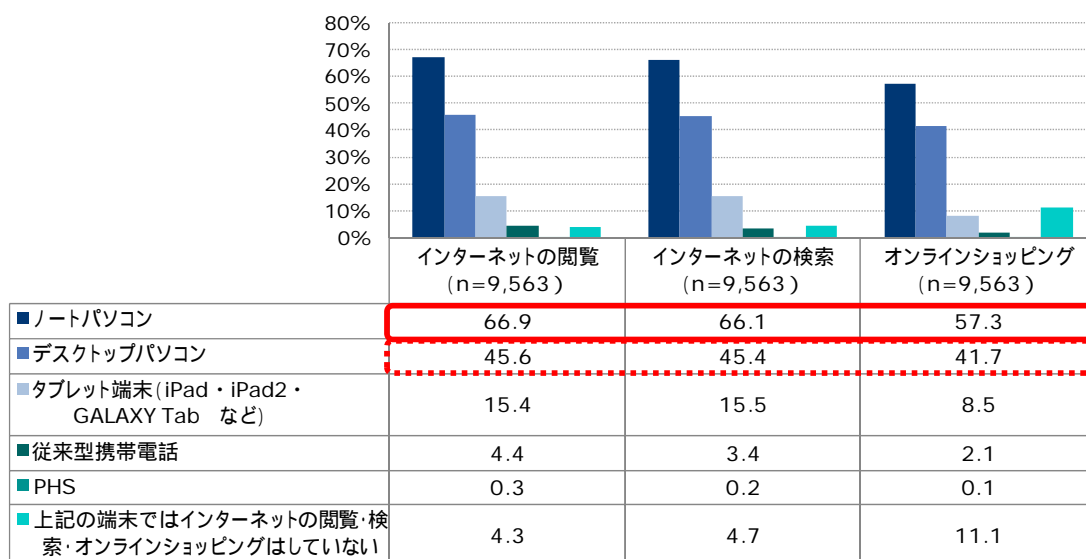
個人で所有している端末のみについて回答



次に、ふだんインターネットを利用する際のスマートフォン以外の端末についても聞いたところ、「インターネットの閲覧」「インターネットの検索」「オンラインショッピング」3つすべての項目で、「ノートパソコン」の利用率が最も高いことがわかりました。2番目に回答割合が高かった「デスクトップパソコン」は40%を超えており、スマートフォン所有者はインターネット利用にパソコンを併用している人が多いことが明らかになりました。なお、「従来型携帯電話」「PHS」は、前述の3つの項目に関して、ほとんど利用されていないことが明らかになりました(図9)。

図9 普段、インターネットを利用する際の利用端末(複数回答)

個人で所有している端末のみについて回答



続いて、年代別の各デバイスの利用率についても見ていきましょう。すべての年代において、「ノートパソコン」での「インターネットの閲覧」および「インターネットの検索」の利用率は60%、「オンラインショッピング」の利用率は半数を超えています。また、「インターネットの閲覧」および「インターネットの検索」にタブレット端末を利用している50代が20%以上存在し、他の年代よりも若干割合が高くなっていました。その反面、従来型携帯電話を所有している人はすべての年代で、閲覧・検索・オンラインショッピングのどの項目においても、パソコンやタブレット端末と比べると利用率がかなり低い結果となりました(図10)。



図10 年代別：普段、インターネットを利用する際の利用端末（複数回答）

個人で所有している端末のみについて回答





## 4. まとめ

本稿ではスマートフォン利用者の動向を利用目的やインターネットの利用という側面から紹介しました。年代別の利用者の動向を比較しましたが、特に大きな違いはみられず、どの年代においてもスマートフォンは「インターネットの閲覧」および「インターネットの検索」利用の割合が高いことがわかりました。本稿で紹介した調査結果のポイントを以下にまとめたので参考にしてください。

1. スマートフォンでの「インターネット利用」は9割弱
2. すべての年代で「インターネット」と「メール・SMS」が利用目的のトップ2
3. スマートフォンで「インターネットの閲覧」「アプリの利用」は「ほぼ毎日」が8割以上、「インターネットの検索」は6割以上
4. 10代の約7%が「週に6日以上」スマートフォンでオンラインショッピングしている
5. スマートフォンと最も併用率が高いのは、どの年代も「ノートパソコン」。「従来型携帯電話」は2割弱



## 付録: 回答者プロフィール

スマートフォン利用者の利用動向調査では、回答者が所有しているスマートフォンの約6割がAndroid搭載端末でした(図11)。また、回答者のプロフィールの詳細をみると、性別では男性が59.7%を占め、年齢では40代が34.3%と最も多くなっています。さらに居住地域では、関東地方が39.8%と最も多く、近畿地方の19.1%が続いていました(図12)。

図11 最も利用しているスマートフォンの種類(単一回答、n=10,109)

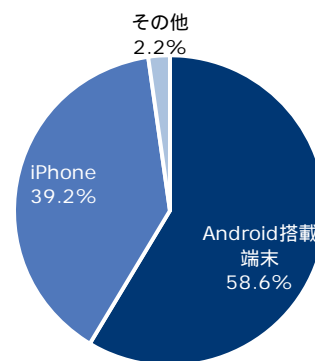
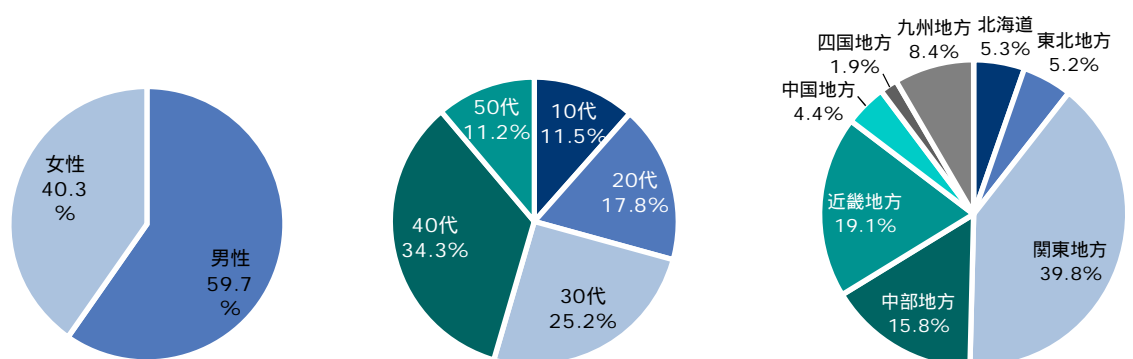


図12 男女/年代/地域比(単一回答、n=10,109)



作成日: 2012年6月12日

### 調査概要

調査企画・設計:	ヤフー株式会社自主調査
調査目的:	スマートフォン利用者への意識・行動調査を行うことで、スマートフォンでのインターネット利用・検索動向を把握することを目的とする。
調査方法:	マクロミルモニタを利用したインターネット調査(スマートフォン)
調査機関:	株式会社マクロミル
調査対象地域:	全国
有効回答数:	10,109サンプル
調査実施時期:	2012年5月29日(火)~2012年6月1日(金)